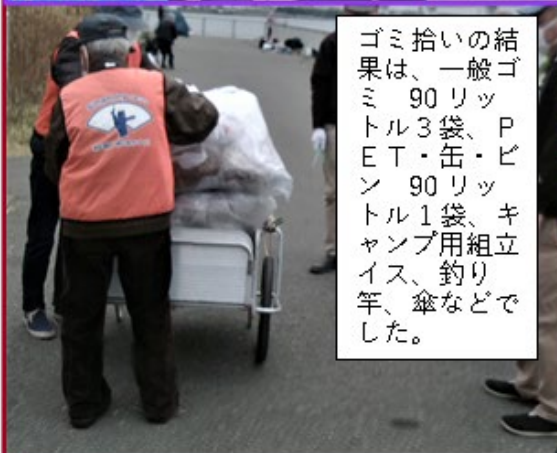


(シリーズ) トンボみちの仲間たち

月例活動(2月25日)と末広水際線70mナード清掃(3月5日)の様子をお伝えします。(撮影:柴田さん)



トンボみちなんでも調査隊

30 by 30ってなんだ？
～わたしたちのトンボみちにも関係あるのかな？～

最近、**30 by 30**って聞いたことはありますか？あまり聞きなれない言葉ですが、実は自然環境保護に関するホットな言葉なのです。

昨年12月にカナダで開催された会議COP15（生物多様性条約第15回締約国会議）では、2030年までに地球上の陸地及び海洋の双方でその30%以上を保護することが目標に定められたのです。すなわち**2030年までに地球の自然環境の30%以上を保護する目標を30 by 30（30% by 2030）**と言っているのです。

今回の調査隊では、環境省の**30 by 30**のホームページより引用して少しだけ詳しく説明したいと思います。

1 30by30目標って？



2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標です。

国内外の研究報告で、生物多様性保全のために**30 by 30**を目指すことが重要と指摘されています。

- ①世界の**陸生哺乳類種の多く**を守るために、既存の保護地域を総面積の**33.8%**まで拡大が必要とされています。
- ②日本の保護地域を**30%**まで効果的に拡大すると生物の**絶滅リスクが3割減少**する見込みです

2 日本ではどのぐらいの面積が保全されているの？



陸域20.5%と**海域13.3%**を**保護地域**として保全。

- ①2010年に愛知県で開催されたCOP10の**愛知目標**では、**2020年までに陸域17%、海域10%**を保全することが掲げられていました。
- ②日本では、**陸域は20.3%**で既に愛知目標を達成していました。その後、奄美や沖縄の国立公園の指定等により、**20.5%**になりました。
- ③**海域**については**8.3%**でしたが、2020年に「**沖合海底自然環境保全地域**」という制度をつくり、小笠原方面を新たに指定し、**13.3%**となりました。

さて、今回の調査の最後に、**30 by 30のロゴマーク**を紹介しましょう。

次回以降に、**30 by 30**を実現するために私たちに何ができるか等を調査続行します。(-_-)☆銀



モチーフとしてカエルを採用し、その中に森や海といった自然やそこに住むいきもの、さらには都市や舟など人々の生業を配置。カエルの体部分（上部）は森林など陸域をイメージした緑基調の和紙、顔の部分（下段）は、海や川など水域をイメージした青基調の和紙で表現。

活動予定 ※雨天は1週間延期

今月：3月25日(土) 9時～11時
来月：4月22日(土) 9時～11時
事前の申込みは不要です。誰でも参加可能！

公式ホームページをご覧ください



トンボみちファンクラブ

検索

JFEトンボみち ファンクラブ通信 2023年3月号

発行日：2023年3月22日

発行者：トンボみちファンクラブ

連絡先：ファンクラブ代表 柴田 090-4627-8821

◆ファンクラブ通信への自由投稿をお待ちしています
投稿してくれた方にはトンボバッチを差し上げます

※「JFEトンボみち」はJFEエンジニアリング（株）が地域の皆様に開放している公開緑地です

